



三寶寺寺報 第一九六号
 二〇〇六年三月一日発行
 発行人 目崎 薫(三寶寺住職)
 伊勢原市沼目三 十二 二一
 TEL 0463 3236
 FAX 0463 9335452
 購読料 加金 年三〇〇〇円(年送料込)
 郵便振替口座 一〇二八〇〇八八三三〇一

祝 宗教法人 聖徳山 三寶寺 認証

二〇〇六年二月二十一日 仏暦二五四九
 宗教法人設立登記 二月二十八日



截金 「蓮一葉」

桜材一葉彫刻 純金箔 截金
 重要無形文化財 江里 康慧 刻
 截金 保持者 江里 佐代子

夢殿

夢はみるもの
 願はかなうもの
 夢は成長するもの
 願は向上するもの
 夢はさめるもの
 願は実現継続する
 夢は独力してみれるものなり
 願は助け助けられていくものなり
 この夢殿に勇氣をもて
 果たれば必ず願はかなう

私という言葉

日常生活の中で、私はaham(アハム)という言葉によって自己の存在を意志を主張する。私のmamaという言葉は、自己の所有を言いあらわす。そして自己と自己の所有を主張することを「我と我所の執」という。しかし、まったく我執を離れた帰依と感謝の心をもって、『私は』とか、『私の』という言葉を用いることがある。たとえば、父母を語るとき、過去を慚愧するとき、信仰の喜び、感謝を伝えると

勇氣」ということである。

(中略)忍耐すべきに腹を立てるのも勇氣不足である。腹を立ったとき柔和に転じ、億劫になるとき進んで閻法の座に出るといつのが、心の勇氣であって、これが精進心である。(『印度哲学史』P177) 歎異抄「悪からんにつけてもいよいよ願力を仰ぎまいらせば、自然のことわりにて柔和忍辱の心もいできべし」

公羊

が、本当の意味は「心の一般にはただ、自己を鞭撻して仕事に励むことのように考えられているように考えられている。史『稲津紀三著P143』私にはただ、自己を鞭撻して仕事に励むことのように聞いています。お経の「如是我聞」(私はこのように聞いています)のときがそうである。私にはVira(精進)心の勇氣をもっている。(『印度哲学史』稲津紀三著P143)

三寶寺掲示板 三月

人生とは
 その日
 その日の
 法縁である

Life is a daily encounter with the dharma.